



## 川の水には、どんなものがふくまれているの

川の水に、雨や雪、温泉や火山などからの水がとけこむ

川の水にふくまれているものは、降った雨や雪にふくまれているもの、温泉や火山から出てくる水、土や岩石にふくまれているもの、人の生活によって出てくるものなどがあります。

また、空気中の酸素もとけこんでいます。

川の水にふくまれているものは、日本の川のほうが世界の川に比べて、たいへん少なくなっています。

それは、日本は雨がが多く、川のかたむきが急で、水の流が速いので、川から蒸発する水の量が少なく、川の水にとけているものが、こくならないからです。

## カルシウム、マグネシウム、けい酸など

日本の川の水には、カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウム、塩素、けい酸などがふくまれています。世界の川に比べて、カルシウム、マグネシウム、カリウムの量が、少なくなっています。しかし、けい酸の量は、たいへん多くなっています。これは日本に、火山でできた岩石が多いからです。

火山の近くにある日本の川の中で、塩酸や硫酸がとけこんで、強い酸性の性質を表す川があります。秋田県の玉川、山形県の須川、群馬県草津付近の湯川、須川などがその例です。

(監修・国司・真)

